

地理学専攻

自然と人間活動の相互作用で起こる現象を科学的に解明

自然地理と人文地理の2本柱でカリキュラムを構成しています。その幅広く複合的な領域をバランス良くカバーする教育体制が整っています。地理学は地域の科学、あるいは空間の科学ともいわれます。地理学という地域（空間）とは、身近なミクロの範囲から、国・大陸・地球規模と、さまざまな規模を含んでいます。地球規模の環境問題に直面する現代、現場のフィールドワークをもとに、地表付近で起こる時空間的分布現象にアプローチする地理学は、社会的にもその重要性を増しています。本専攻では、学生は自然地理・人文地理のどちらかに重心を置きつつ、個別の研究テーマを設けて研究を進めます。養成する人材は、地理学研究者、中学・高校教員、公務員、社会に貢献する人材などです。また、社会人入試制度により現職の教員や有識者の再学習にも力を注いでいます。

<p>アドミッション・ポリシー (学生受け入れ方針)</p> <p>[修士課程] 一般入試の他に社会人を対象にした特別入試、研修生入試を実施し、幅広く地理学研究に意欲と能力を備えた優秀な人材を求めている。また、国際日本学インスティテュートに複数の専任教員が関与し、入学生を募っている。</p> <p>[博士後期課程] 地理学分野の研究者、教育者等を目指す優秀な人材を求めている。</p>	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成・実施方針)</p> <p>[修士課程] 1年目は専門的基礎学力の取得、論文記述方法の学習、英語能力の向上、留学生は日本語能力の向上を図る。2年目は研究テーマに必要な研究方法、成果や結果をプレゼンテーションする能力を獲得する。</p> <p>[博士後期課程] 指導教員による博士の学位を取得するための専門性の高いゼミ方式の教育が行われる。</p>	<p>ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)</p> <p>[修士課程] 修士の学位は、学生が研究テーマに必要な研究方法を身につけ、専門知識を十分に修得し、研究上新たな知見を獲得した場合に授与される。</p> <p>[博士後期課程] 博士の学位は、高い専門性と独創性を修得し、当該分野に独自の知見を新たに加え、当該研究分野に貢献するものとして博士論文が認定された場合に授与される。</p>
--	---	--

専任教員と主な担当科目 (2017年度) ※年度により授業を持たない場合があります。

<p>伊藤 達也 教授</p> <p>専攻： 経済地理学、資源・環境研究 研究テーマ： 水資源研究、環境問題研究、地域経済・地域社会研究 担当科目： 人文地理学演習Ⅰ/Ⅱ、人文地理学演習Ⅰ/Ⅱ</p>	<p>米家 志乃布 教授</p> <p>専攻： 歴史地理学、日本北方・ロシア地域研究 研究テーマ： 蝦夷地・北海道の歴史地理学、シベリア・極東の地図学 担当科目： 歴史地理学演習Ⅰ・Ⅱ、歴史地理学研究Ⅰ・Ⅱ、人文地理学文献講読Ⅰ・Ⅱ</p>	<p>中俣 均 教授</p> <p>専攻： 文化地理学、島嶼の地理学 研究テーマ： 沖縄地域研究 担当科目： 文化地理学演習Ⅰ/Ⅱ、文化地理学研究Ⅰ/Ⅱ</p>
<p>前杵 英明 教授</p> <p>専攻： 自然地理学、地形学、第四紀学 研究テーマ： 地殻変動および環境変動に関する地形・地質学的研究 担当科目： 地形学研究Ⅰ/Ⅱ、地形学演習Ⅰ/Ⅱ</p>	<p>吉田 智 教授</p> <p>専攻： 原子核物理学 研究テーマ： 平均場理論による原子核構造の研究 担当科目： ※今年度は、特定の科目を担当しません</p>	<p>小原 文明 准教授</p> <p>専攻： 都市地理学、都市開発論 研究テーマ： 都市開発の空間的・社会的意義、土地所有から見た都市形成・変容 担当科目： ※今年度は、特定の科目を担当しません</p>
<p>片岡 義晴 准教授</p> <p>専攻： 農業経済地理学 研究テーマ： 現代の農業労働力問題、集落共同化 担当科目： 人文地理学総合演習Ⅰ/Ⅱ、地域社会論研究Ⅰ/Ⅱ</p>	<p>小寺 浩二 准教授</p> <p>専攻： 自然地理学(水文学)、海洋陸学、水文地理学 研究テーマ： 水循環に伴う物質循環に関する研究、河川流域の水環境保全と管理に関する研究 担当科目： 水文学研究Ⅰ/Ⅱ、環境科学Ⅰ/Ⅱ</p>	<p>山口 隆子 准教授</p> <p>専攻： 自然地理学、気候学・生気象学 研究テーマ： 都市気候研究、都市緑化研究、自然地理学 担当科目： 気候学研究Ⅰ/Ⅱ、気候学演習Ⅰ/Ⅱ、自然地理学文献講読Ⅰ/Ⅱ</p>



Graduate School of Humanities
Major in Geography

募集人員： 修士課程15名/博士後期課程2名
開講形態： 昼夜開講
キャンパス： 市ケ谷
主な進路： 教育関連(教員)やコンサル分野など

研究室紹介

伊藤 達也 教授

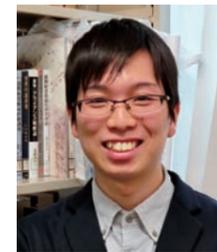


環境問題と地域経済問題を中心とした地域理解

河川の水資源問題を中心に

人文地理学を専攻し、特に環境問題の社会科学的側面を、一方で地域経済問題について研究しています。近年、大学院生の研究テーマとしては、中国のダム問題、河川の水辺整備、中国・重慶の自動車解体業、中国におけるローソンの進出プロセス、池袋を中心とした在日中国人の居住意識変化等々があります。中国に関係した研究テーマが多いのは、私が地理学専攻だけでなく、国際日本学インスティテュートの教員も兼ねており、そちらから複数の中国人留学生が入学してくることにあります。従って、私の研究室は毎年、中国人と日本人の混成で編成されており、大変にぎやかな状況となっています。これからは議論の絶えることのない研究室を心がけていきます。

STUDENT'S VOICE



修士課程 2016年度修了
吉原 圭佑

研究意欲の高い院生や留学生との交流が大きな刺激に。恵まれた環境がビジネスや海外への関心を広げてくれた

専攻の魅力

学内・学外を問わず例えば経済地理学分野における第一人者の教授方から教授して頂け、少人数のゼミ形式での講義では院生からの疑問も議論の中でお答えくださいます。修士論文に関しては指導教員が否かを問わず厳しく鋭い指摘をしてくださいます。また、研究意欲の高い日本人院生や留学生と交流でき、全く色の異なる各々の研究テーマや異文化から大きな刺激や新たな視座を得られます。

学んだこと、身に付いたこと

恵まれた環境で研究に邁進できました。一流の教授方や豊富な蔵書、研究補助金、専攻室、他大学院との単位互換制度を擁しており、キャンパスは都心に立地するため国立国会図書館や現地調査へも至便です。普段から留学生や社会人院生と共に学び研究し、現地研究では海外に赴くこともあるため、日本人院生同士での交流では生まれない刺激を受け、ビジネスや海外へも関心事の範囲が拡大しました。

研究テーマ グローバル・アライアンス(多社間連携)を活用した日系航空会社の国際戦略

設置科目 (2017年度) ※開講科目は年度により異なります。()内は単位数

<p>[修士課程]</p> <p>地形学研究Ⅰ/Ⅱ(各2) 地形学演習Ⅰ/Ⅱ(各2) 気候学研究Ⅰ/Ⅱ(各2) 気候学演習Ⅰ/Ⅱ(各2) 水文学研究Ⅰ/Ⅱ(各2) 環境科学研究Ⅰ/Ⅱ(各2) 第四紀学研究Ⅰ/Ⅱ(各2) 自然地理学文献講読Ⅰ/Ⅱ(各2) 自然地理学総合演習Ⅰ/Ⅱ(各2) 自然地理学特殊講義Ⅰ/Ⅱ(各2) 人文地理学研究Ⅰ/Ⅱ(各2) 人文地理学演習Ⅰ/Ⅱ(各2) 社会経済地理学研究Ⅰ/Ⅱ(各2) 社会経済地理学演習Ⅰ/Ⅱ(各2) 文化地理学研究Ⅰ/Ⅱ(各2) 文化地理学演習Ⅰ/Ⅱ(各2) 地域社会論研究Ⅰ/Ⅱ(各2) 空間構成論研究Ⅰ/Ⅱ(各2) 歴史地理学研究Ⅰ/Ⅱ(各2)</p>	<p>歴史地理学演習Ⅰ/Ⅱ(各2) 人文地理学文献講読Ⅰ/Ⅱ(各2) 人文地理学総合演習Ⅰ/Ⅱ(各2) 人文地理学特殊講義Ⅰ/Ⅱ(各2) 地理学現地研究Ⅰ/Ⅱ(各1)</p> <p>[博士後期課程]</p> <p>地理学特別演習Ⅰ/Ⅱ(各2) 自然地理学特別講義Ⅰ~Ⅳ(各2) 人文地理学特別講義Ⅰ~Ⅳ(各2) 地誌学特別講義Ⅰ~Ⅳ(各2)</p>
---	--

修了生の研究テーマ

- 日本の夏季におけるWBGT(湿球黒球温度)の分布に関する総観気候学的考察
- 東京首都圏における北西方向への気温の縦断分布とその季節的变化
- グローバル・アライアンスを活用した日系航空会社の国際戦略ー全日本空輸・日本航空を事例にー
- クリプトテフラの同定による南海トラフ大地震に伴う津波発生年代の解明
- 台風通過に伴う関東地方の降水量分布と地形との対応
- 日本社会の影響における在日新華僑・華人の変容ー池袋チャイナタウンを中心にー
- 重慶市における日系コンビニの店舗運営の実態とその立地の特徴ーローソンを事例にー
- 半乾燥地域における塩湖及び集水域諸河川・地下水の水文化特性ー中央アジア・キルギス：イシクル湖を事例にー
- 中国における流域ガバナンスの住民参加の現状と問題点ー小南海水力発電所を対象にー
- 中国における使用済み自動車の解体業に関する研究ー重慶市における解体企業の考察を中心にー